

日立HCIソリューション for VMware vSAN メニュー

JP1/Operations Analytics
JP1/Automatic Operation

VMware vSphere VMware vSAN

高性能・大容量モデル: DL380 Gen10 24SFF

大容量モデル: DL380 Gen10 12LFF

スタンダードモデル: DL360 Gen10 8SFF

日立アドバンストサーバ HA8000Vシリーズ

日立サポート360

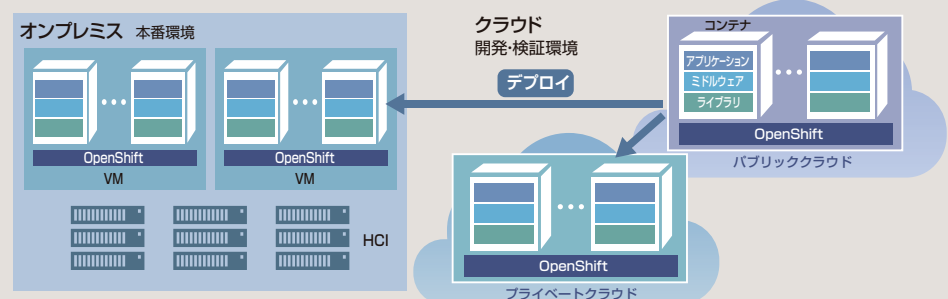
日立アドバンストサーバHA8000V、VMware vSphere、VMware vSANを最適な構成で構築したHCI環境を提供します。HA8000Vは、スタンダードモデルや高性能・大容量モデルなど全5モデルを用意しています。また、お客様の要件に合わせて設計・設定する構築サービスをはじめ、充実のオプションサービスを提供し、スムーズなHCI導入をサポートします。その他にも、システム運用に欠かせないバックアップ運用や電源管理運用など、HCI環境に最適化した製品を用意しています。

<p>オプションサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想マシン構築サービス 現地スタートアップサービス 操作トレーニングサービス 構築アフターサービス 	<p>HA8000V バックアップアプライアンス</p> <p>JP1/VERITAS NetBackup または Arcserve UDP</p> <p>インストール作業代行サービス</p> <p>日立サポート360</p>	<p>無停電電源装置(UPS)</p> <p>PowerChute® Network Shutdown</p> <p>UPS設定サービス</p> <p>日立サポート360</p>
---	---	---

Arcserve UDP : Arcserve Unified Data Protection UPS : Uninterruptible Power Supply

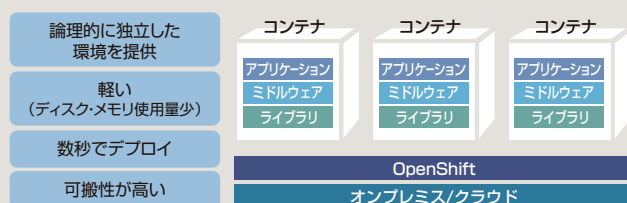
ハイブリッドクラウド実現へのアプローチ

クラウド上で開発・検証したアプリケーションを本番環境のあるオンプレミス上に展開する際も、可搬性の高いコンテナを活用すれば簡単・迅速に実施できます。日立HCIソリューション for VMware vSANでは、Kubernetesをベースにしたコンテナ基盤「RedHat OpenShift Container Platform」を、設定済みの状態で提供可能です。



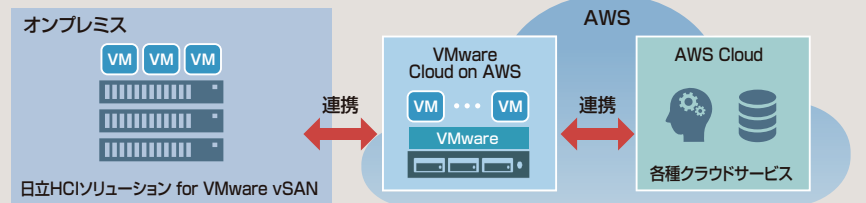
コンテナ型仮想化とは

論理的に独立したアプリケーション実行環境を複数実現します。ディスク・メモリ使用量が少なく、環境依存度が小さいため、軽量で可搬性が高いのが特徴です。ミドルウェア+アプリケーションをひとかたまりにして、さまざまなプラットフォームに容易にデプロイできます。



VMware Cloud on AWSへの対応

「VMware Cloud on AWS」による、HCIとクラウドとのシームレスな連携を生かして、業務に合わせた適材適所のシステムを、柔軟に構築できます。環境構築からアフターサポートまで日立が一貫して支援します。



・本カタログ中で引用されるArcserveロゴと、Arcserveの製品名は、Arcserveまたはその子会社の登録商標または商標です。・Amazon Web Services、[Powered by Amazon Web Services]ロゴ、AWSは、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。・PowerChuteは、Schneider Electric Industries SASまたはその関連会社の登録商標または商標です。・OpenShift is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries. ・Veritas, Veritas logo,および NetBackupは、米国および/またはその他の国におけるVeritas Technologies LLC またはその関連会社の商標または登録商標です。・VMware, VMware vSphere, VMware vSANは米国および/またはその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。

安全に関するご注意 ご使用の前に必ず製品マニュアルなどの注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci>
- インターネットでのお問い合わせ
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/ask/index.html>

株式会社 日立製作所 ITプロダクツ統括本部

日立ハイパーコンバインドインフラストラクチャ(HCI)ソリューション for VMware vSAN

HITACHI
Inspire the Next

日立HCIソリューション for VMware vSAN

進化する運用管理で、ITシステムの潜在能力を引き出す。



CB-530P 2021.3

©Hitachi, Ltd. 2021. All rights reserved.

今、注目の仮想化基盤、HCI。洗練された運用管理で、IT部門の負担を軽減する。

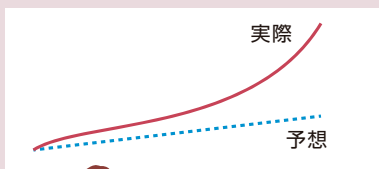


多くの企業では、社内に分散し複雑化した業務システムを仮想化・集約することで、IT基盤の運用管理を効率化しています。しかし、仮想化・集約後の運用を通じて、IT部門に新たな課題が生じています。日立HCIソリューション for VMware vSANでは、このような課題を解決し、ビジネス変革へ柔軟に対応する仮想化基盤を構築できます。

課題 サーバ集約でITリソースはスリム化できたものの、IT部門に運用管理面で新たな負担を強いている

リソース不足への懸念

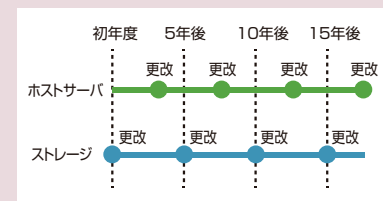
ビジネス環境の変化が著しいため、導入検討時に将来のニーズを見越したサイジングをすることが難しい。



導入検討時の予想を上回るスピードでデータ量が増えてしまった...

システム更改・移行の負担

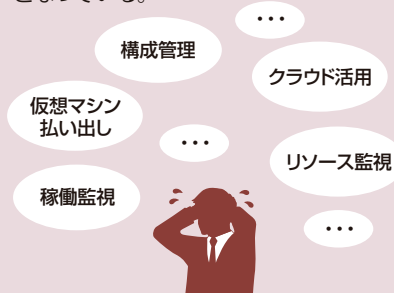
製品ごとに保守期間が異なり、大規模なシステム更改、データ移行の頻度が増え、対応負担が大きい。



数年おきにハードウェア更改に伴うシステム移行が発生

複雑化するシステム環境

システムの複雑化により、リソース監視など日々のシステム運用業務が高負荷となっている。



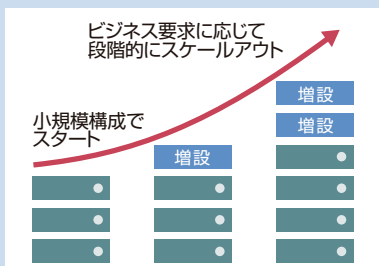
HCIでは

運用開始後のIT部門の管理負担を軽減するだけでなく、新技術を活用し、ビジネス変革をリードするITインフラを実現できます！

段階的にスケールアウトできる高い柔軟性

ホストサーバ(HCIノード)を増設するだけで、ストレージを含むリソースの追加が可能です。CPU、メモリー、内蔵ディスク単位の増設と合わせ、柔軟なリソース拡張を実現します。

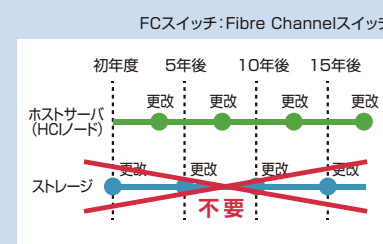
- 導入検討時に将来ニーズを見越したサイジングが不要
- 柔軟なリソース追加で最適な投資が可能



コンポーネント削減によりシステム更改・移行の負担を軽減

システムがHCIノードと接続スイッチだけで構成されるため、更改・移行の頻度を減らすことが可能です。

- ストレージやFCスイッチのライフサイクル管理が不要
- リプレース時のバス再構築や大がかりなデータ移行が不要

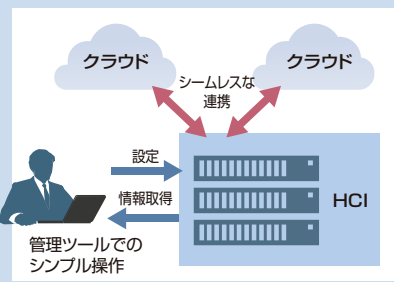


ストレージのライフサイクルに起因したシステム更改は不要に

ITインフラ全体のシンプルな運用管理を実現

パブリッククラウドの各種サービスやクラウドネイティブなアプリケーションを自社に取り込みたいという企業が増えています。HCIとクラウドのハイブリッド環境/マルチクラウド環境でも、アプリケーションやデータを共通かつシンプルな方法で管理できます。

- 新しい技術を自社のデータセンターに導入可能

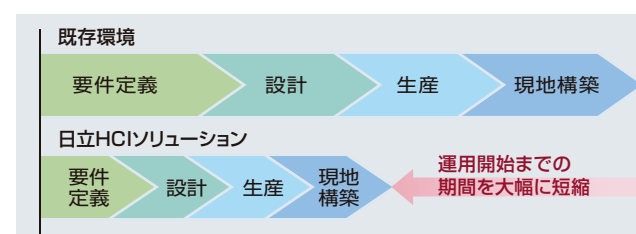


日立ならではの技術とノウハウを生かし、シンプルなHCI運用を実現

日立が提供するものは、HCI市場で高いシェアを誇る仮想化ソフトウェア、VMware vSphereに最適化したHCI環境。ビジネスの成長に合わせて柔軟にリソースを拡張できるHCIの特色に加え、統合システム運用管理「JP1」をバンドルすることで、HCIから業務システムまでシステム全体の運用管理を最適化します。また、システムを構成する各製品に対するサポートをひとつの窓口で対応。障害時には切り分け不要のワンストップ対応で迅速な問題解決を支援します。日立の技術とノウハウが凝縮されたシンプルなHCI運用により、IT部門の働き方改革に貢献します。

短期間でのサービスインによる速やかな運用開始と、拡張・更新の自動化による最適環境の維持

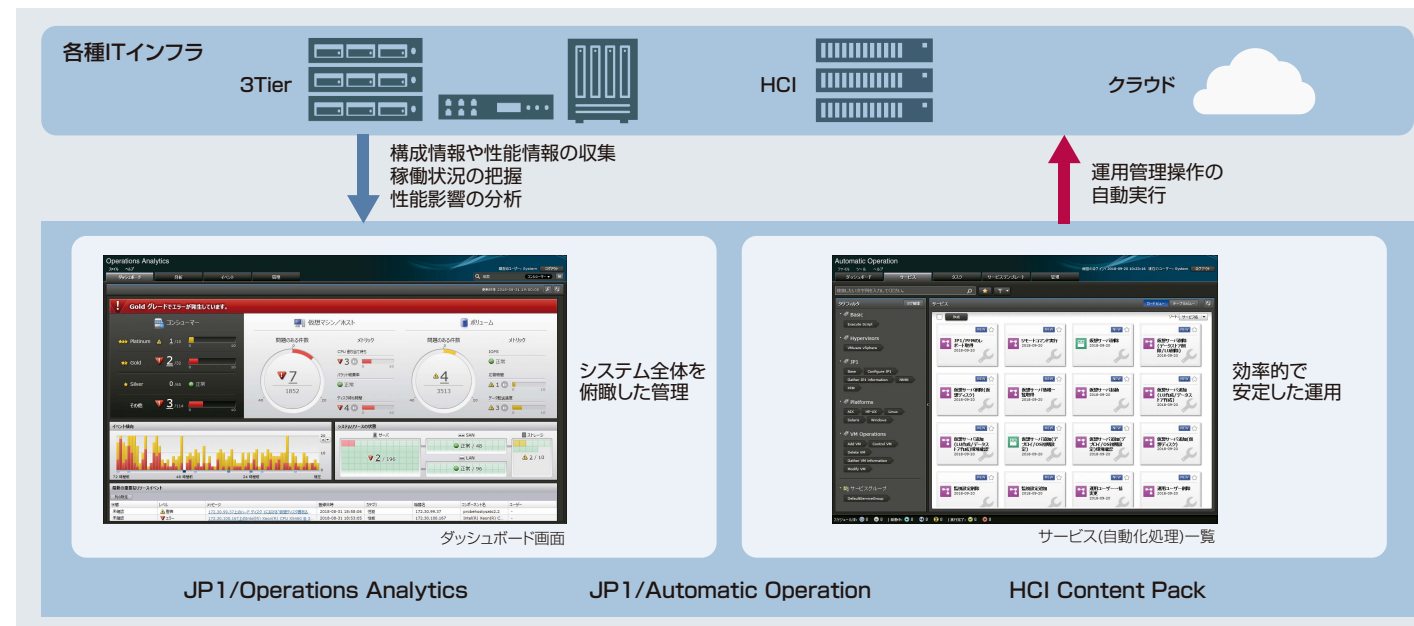
日立が設計・検証済みの構成で構築したHCI環境を提供するため、納入後、ケーブルを接続・電源を入れてすぐに使用できます。また、ご希望のお客さまには、日立のエンジニアによる現地スタートアップ支援や操作トレーニングを実施し、安心して利用を開始していただけます。さらに、HCIノードを追加するだけで自動的にHCI環境を拡張できる機能や、関連ソフトウェアの更新を自動実行する機能で、最適なHCI環境の維持を支援します。



業務視点のシステム監視とインフラ運用からの解放

業務システム部分からプラットフォームレイヤであるHCI部分まで、システム全体を俯瞰(ふかん)した運用管理を実現します。ビジネスの成長に合わせて、リソース配分や増強を見直すことが容易になり、常に適切なプラットフォームを維持できます。さらに、HCIの運用に必要なオペレーションを自動化したコンテンツを「HCI Content Pack」*として提供。自動化による属人性排除、人的ミス防止、処理高速化で、効率的で安定したシステム運用を実現できます。日々の運用作業は「HCI Content Pack」に任せて、お客さまはデジタルテクノロジーを戦略的に活用し、ビジネスモデルを変革する業務に集中していただけます。

* JP1/Automatic Operationで使用するHCIソリューション専用のコンテンツパックです。



日立サポート360で、万が一のトラブルの迅速な解決を支援

HCIノード、VMware製品、JP1に対応するサポートを一本化した総合サポートサービス、それが日立サポート360です。操作方法や障害に関するお問い合わせを1つの窓口で受け付け、複数の製品にまたがって調査しなければならない複雑な問題にも、それぞれの製品エンジニアが一体となって迅速な問題解決を支援します。ハードウェアの部品交換などが必要な場合は、全国のサービス拠点からお客さまサイトに伺います。

